

卒業生 就職先アンケート

1. 目的

本学が卒業時に身に付けておくべき資質や能力（ディプロマポリシー）について、学生の就職先（企業、団体、公務員、教員等）の人事（教育）担当者もしくは上司に対して、その達成度を確認し、今後の教育課程の編成並びに実施方針（カリキュラムポリシー）に反映させることを目的とする。

2. 対象および対象者数

2025 年 3 月卒業生（企業 233 名、公務員 28 名、教員 38 名）の就職先に対して、回答票を郵送にて送付。

3. 調査（回答票収集）期間

2025 年 10 月 6 日～2025 年 10 月 31 日

4. 回答方法

Forms もしくは FAX にて回答票を収集

5. 回答結果

表 1. 回答件数（率）

就職先	対象数	回答数	回答率
企 業	233	105	45.1%
公務員	28	7	25.0%
教 員	38	20	52.6%
計	299	132	44.1%

回答数は 132 件（回答率 44.1%）であった。なお、回答方法の内訳は（Forms：90 件、FAX：42 件）となる。

表 2. 企業・団体における従業員数ごとの回答件数（率）

従業員数	回答数	割合
～50 人	24	27.9%
51～100 人	9	10.5%
101～300 人	23	26.7%
301～1,000 人	13	15.1%
1,001 人～	17	19.8%
計	86	100.0%

従業員数別では 50 人以下の企業・団体からの回答率が最も高く、次いで、101～300 人の企業・団体からの回答率が高い。

表 3. 回答票を回収した業種の割合

NO	業界	回答数	割合
1	卸売業・小売業	25	18.94%
2	教育・学習支援業	24	18.18%
3	サービス業（他に分類されないもの）	23	17.42%
4	建設業	7	5.30%
5	運輸業・郵便業	9	6.82%
6	不動産業・物品賃貸業	9	6.82%
8	製造業	8	6.06%
7	公務	7	5.30%
9	金融業・保険業	5	3.79%
10	医療・福祉	4	3.03%
11	宿泊業・飲食サービス業	3	2.27%
12	生活関連サービス業・娯楽業	2	1.52%
13	複合サービス業	2	1.52%
14	電気・ガス・熱供給	2	1.52%
15	情報通信業	1	0.76%
16	その他（プロスポーツクラブ）	1	0.76%
	計	132	100.00%

「卸売業・小売業」の回答数が最も高く。全回答の 18.94%を占める。

表 4. 企業・団体におけるディプロマポリシーの達成状況【有効回答数 93】

能力	①身についている		②どちらかといえ ば身についている		③どちらかといえ ば身についていない		④身についていない		未回答		①+②	③+④
親和力	59	63.4%	25	26.9%	8	8.6%	1	1.1%	0	0.0%	90.3%	9.7%
協働力	55	59.1%	27	29.0%	8	8.6%	3	3.2%	0	0.0%	88.2%	11.8%
感情抑制力	38	40.9%	44	47.3%	10	10.8%	1	1.1%	0	0.0%	88.2%	11.8%
行動持続力	45	48.4%	36	38.7%	12	12.9%	0	0.0%	0	0.0%	87.1%	12.9%
情報収集力	17	18.3%	64	68.8%	12	12.9%	0	0.0%	0	0.0%	87.1%	12.9%
実践力	37	39.8%	42	45.2%	13	14.0%	1	1.1%	0	0.0%	84.9%	15.1%
自信創出力	31	33.3%	44	47.3%	17	18.3%	0	0.0%	0	0.0%	80.6%	18.3%
言語処理能力	21	22.6%	52	55.9%	19	20.4%	1	1.1%	0	0.0%	78.5%	21.5%
統率力	25	26.9%	44	47.3%	20	21.5%	4	4.3%	0	0.0%	74.2%	25.8%
構想力	17	18.3%	50	53.8%	23	24.7%	2	2.2%	0	0.0%	72.0%	26.9%
非言語処理能力	15	16.1%	52	55.9%	24	25.8%	0	0.0%	2	2.2%	72.0%	25.8%
課題発見力	19	20.4%	47	50.5%	26	28.0%	1	1.1%	0	0.0%	71.0%	29.0%
計画立案力	19	20.4%	46	49.5%	28	30.1%	0	0.0%	0	0.0%	69.9%	30.1%
情報分析力	12	12.9%	51	54.8%	29	31.2%	0	0.0%	1	1.1%	67.7%	31.2%

表 5. 公務員におけるディプロマポリシーの達成状況【有効回答数 7】

能力	①身についている		②どちらかといえ ば身についている		③どちらかといえ ば身についていない		④身についていない		未回答		①+②	③+④
親和力	2	28.6%	4	57.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	85.7%	0.0%
感情抑制力	0	0.0%	6	85.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	85.7%	0.0%
言語処理能力	1	14.3%	4	57.1%	1	14.3%	0	0.0%	1	14.3%	71.4%	14.3%
協働力	1	14.3%	4	57.1%	1	14.3%	0	0.0%	1	14.3%	71.4%	14.3%
行動持続力	2	28.6%	2	28.6%	1	14.3%	0	0.0%	2	28.6%	57.1%	14.3%
自信創出力	1	14.3%	3	42.9%	1	14.3%	0	0.0%	2	28.6%	57.1%	14.3%
情報収集力	0	0.0%	4	57.1%	1	14.3%	0	0.0%	2	28.6%	57.1%	14.3%
情報分析力	0	0.0%	4	57.1%	1	14.3%	0	0.0%	2	28.6%	57.1%	14.3%
非言語処理能力	1	14.3%	2	28.6%	2	28.6%	0	0.0%	2	28.6%	42.9%	28.6%
実践力	1	14.3%	2	28.6%	2	28.6%	0	0.0%	2	28.6%	42.9%	28.6%
統率力	1	14.3%	2	28.6%	2	28.6%	0	0.0%	2	28.6%	42.9%	28.6%
課題発見力	1	14.3%	2	28.6%	2	28.6%	0	0.0%	2	28.6%	42.9%	28.6%
構想力	0	0.0%	3	42.9%	2	28.6%	0	0.0%	2	28.6%	42.9%	28.6%
計画立案力	1	14.3%	1	14.3%	3	42.9%	0	0.0%	2	28.6%	28.6%	42.9%

表 6. 教員におけるディプロマポリシーの達成状況【有効回答数 19】

能力	①身についている		②どちらかといえ ば身についている		③どちらかといえ ば身についていない		④身についていない		未回答		①+②	③+④
協働力	11	57.9%	8	42.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	100.0%	0.0%
感情抑制力	6	31.6%	13	68.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	100.0%	0.0%
実践力	4	21.1%	15	78.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	100.0%	0.0%
親和力	10	52.6%	8	42.1%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	94.7%	5.3%
情報収集力	6	31.6%	11	57.9%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	89.5%	10.5%
行動持続力	5	26.3%	12	63.2%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	89.5%	10.5%
情報分析力	2	10.5%	15	78.9%	1	5.3%	1	5.3%	0	0.0%	89.5%	10.5%
課題発見力	2	10.5%	15	78.9%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	89.5%	10.5%
言語処理能力	3	15.8%	13	68.4%	3	15.8%	0	0.0%	0	0.0%	84.2%	15.8%
自信創出力	2	10.5%	14	73.7%	2	10.5%	0	0.0%	1	5.3%	84.2%	10.5%
非言語処理能力	3	15.8%	12	63.2%	4	21.1%	0	0.0%	0	0.0%	78.9%	21.1%
計画立案力	2	10.5%	12	63.2%	4	21.1%	1	5.3%	0	0.0%	73.7%	26.3%
構想力	2	10.5%	11	57.9%	6	31.6%	0	0.0%	0	0.0%	68.4%	31.6%
統率力	2	10.5%	10	52.6%	7	36.8%	0	0.0%	0	0.0%	63.2%	36.8%

ディプロマポリシーの達成状況は、企業・団体、公務員、教員ともに、「親和力」「協働力」「感情抑制力」など、他者との良好な関係性を構築し、協調性（コミュニケーション力）を発揮するとともに、自身の感情を上手くコントロールできる力が高く評価されている。

一方、企業・団体、公務員では、「計画立案力」「情報分析力」「課題発見力」などの評価は低く、教員では、「構想力」「統率力」などが求められる。

表 7. スポーツ系企業・団体のみににおけるディプロマポリシーの達成状況【有効回答数 30】

項目	①身についている		②どちらかといえば身についている		③どちらかといえば身についていない		④身についていない		①+②	③+④
スポーツマンシップ	14	46.7%	14	46.7%	2	6.7%	0	0.0%	93.3%	6.7%
スポーツに関する専門的な知識	8	26.7%	19	63.3%	3	10.0%	0	0.0%	90.0%	10.0%
スポーツの専門家としての自覚、誇り、道徳心	13	43.3%	10	33.3%	7	23.3%	0	0.0%	76.7%	23.3%
自然環境と人とスポーツに関する幅広い知識と技能	7	23.3%	16	53.3%	7	23.3%	0	0.0%	76.7%	23.3%
スポーツの振興について新しい価値を創造する力	8	26.7%	13	43.3%	9	30.0%	0	0.0%	70.0%	30.0%
スポーツに関する高度な技術・技能	9	30.0%	11	35.7%	10	33.3%	0	0.0%	66.7%	33.3%

「スポーツマンシップ」「スポーツに関する専門的な知識」の達成状況が高く、評価頂いている。

表 8. 新入社員・職員に特に必要とする能力や技術について（自由記述）

NO	能力・技術	回答数
1	コミュニケーション能力	44
2	素直さ	19
3	協調性（チームワーク力）	17
4	積極性・行動力	14
5	ビジネスマナー	8
6	柔軟性	6

新入社員・職員に特に必要とする能力や技術は、「コミュニケーション能力」が最も高い。次いで「素直さ」、「協調性（チームワーク）」の順に続く。

6. 自由記述

- ・素直さ、マナー、誠実さ、とりあえずやってみるという行動力を兼ね備えた学生が多く、社内での評価が高い。
- ・負けず嫌いで粘り強く、周囲との関係構築力にも優れており、営業職としての素地は十分にあります。
- ・貴学の学生は、業務に真正面から真剣に取り組み、コミュニケーションの基礎がしっかりしている方が多いと感じます。一方で、業務に直接関係しない内容や興味の持ちにくい課題に対しては、やや消極的な傾向が見られ、全体的にまだ幼さを感じる場面もありました。
- ・スポーツとアルバイトの両立はむずかしいと思いますが、インターン・アルバイト経験が豊富な方が社会に出た時に溶け込みやすいと思いますので、サポートをしてあげて欲しいと思います。
- ・これからの予測不能で、正解のない時代に即し、周りと協働し、納得解を見出しながら自分の足で歩みを進められる、そのような人材を培ってほしいです。
- ・日々の学習に加えて、①社会人基礎力の強化、②課題解決型学習（チームでの協働力やリーダーシップの経験）、③コミュニケーション能力の向上を目指す教育に力を入れていただきたい。
- ・スポーツビジネスに長けた人材を今後も輩出してほしい。
- ・学生に対して、就活の際には見聞を含める意味でも、幅広く業種を見ていくようご指導くださいますと幸いです。

以上